

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給与引当金・・・定年退職および自己都合退職金の支給に必要な額とします。

(2) 資金の範囲

資金の範囲には現金、普通預金、未収入金、未払金、前受金を含めることとしています。

なお、前期末残高および当期末残高については2. の記載のとおりです。

2. 次期繰越収支差額の内訳は次のとおりです。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
現 金	0			0
普 通 預 金	47,277,397	2,579,575		49,856,972
未 収 入 金	15,600	11,700		27,300
合 計	47,292,997	2,591,275	0	49,884,272

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
未 払 金	108,636		12,462	96,174
前 受 金	195,700	129,900		325,600
預 り 金	0	4,800		4,800
次 期 繰 越 収 支 差 額	45,861,663	2,492,037		48,353,700